

「コロナ感染症及び国際情勢緊迫化に伴う燃料油価格激変緩和補助金」

に関する提言その3

令和4年4月22日

公認会計士 中澤省一郎

nakazawas-cpa@athena.ocn.ne.jp

上記事業に関しまして、昨年11月末、本年3月に提言しましたが、「その3」として、以下の4点を提言させていただきます。

報道によりますと上記補助金が5月より改定されるとのことで、その内容は

	改定前	改定後
補助期間	4月まで	5月から9月
補助上限（1L当たり）	25円	35円
補助上限超額への対応	なし	50%補助
RGの目標価格	172円	168円
ジェット燃料への補助	補助対象外	補助対象

と聞き読んでおります。

提言1 補助金算定式は

今週の補助金 = 原油コスト週次平均

ー基準原油コスト (58.9 円)

提言2 原油コスト：サウジアラビアの公表するアラビアンライトの調整金を加算

日経ドバイ+前月のサウジアラビアの公表するアラビアンライトの調整金

為替：三菱UFJ銀行の公表するTTSの火曜日から月曜日までの週次平均

提言3 基準原油コスト (58.9 円)：目標価格168円だった調査日の2週間前の原油コストを基準原油コストとする。

エネルギー庁の公表するレギュラーガソリンの全国平均が168円であったのは

調査日 12/6 公表日 12/8 でありました。

この価格は2週間前の原油コストを反映したものであります。

11/23は祝で公表なし、11/24(水)~11/29(月)の

日経ドバイの(火一月)週次平均 \$79.20 (11/24-11/29)

アラビアンライトの前月の調整金 \$1.70

合計 週次コスト \$80.9

為替の週次平均 115.73 円/\$

基準原油コスト 58.9 円/L

< (R G全国平均ー168 円) を算定式に加えない理由 >

ガソリン市況は、全国各地で値下げが散見されます。

しかしながら、R G全国平均はそれほど下がりにません。

S Sでは、値下げにより小売りマージンが収益が減少します。

一方、エネルギー庁への報告を下げると、

↓

R G全国平均が下がり、

↓

翌週の補助金が減額になり、補助後の仕入価格が上昇します。

↓

売価の値下げ+仕入れの上昇のダブルパンチを回避したい

↓

売価は下がっても、エネ庁への報告は下がらない

という現象であると推察されます。

従って、本補助金の効果の測定を有効にするためにも

(R G全国平均ー168 円) を算定式に加えない ことが望ましいです。

提言4 エネ庁への報告価格は何れかにする

A:レギュラーガソリンの平均価格(POSの売上高/販売数量)

B:レギュラーガソリンの最頻販売価格(最も販売数量の多い単価)

C:レギュラーガソリンの最低販売価格

の何れかを報告するすればいいと思います。

おそらく、ほとんどのSSでは $B \approx C$ だと思いますので……

Aが一番簡単です。(POSの無いSSは皆無に近いと思いますので……)

掛売の単価は、後日、変更になる場合があったり

仮価格も入れていないケースもありますが……

その場合を考慮するなら

$(\text{現金売上高} + \text{クレジット売上高}) / (\text{現金販売数量} + \text{クレジット販売数量})$

以上、提言いたします。